



はくい (HAKUI)

市議会だより

No.83

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

主な内容

一般質問……………	2
各委員会報告……………	5
採決結果……………	6



8月9日に行われた、市議会議員の普通救命講習での救命実技講習

令和元年第3回定例会の概要

令和元年第3回羽咋市議会定例会が、9月2日から9月19日までの18日間開催された。提出された議件は、令和元年度一般会計補正予算など議案12件、報告2件、認定7件である。

初日の提案理由説明の冒頭で、6月29日から30日にかけての豪雨による被害状況や復旧に向けての迅速な対応。そして、豚コレラについて、石川県と連携し感染拡大防止対策の実施と、ジビエの安全確保に努めると表明した。

提案理由説明では、「第6次羽咋市総合計画」の策定に向けて、集計・分析作業を進めるとともに、庁内組織の総合戦略策定委員会および外部諮問機関の羽咋市総合計画審議会を立ち上げ取り組むこと。第1期目の「がんばる羽咋創生総合戦略」の最終年度を「羽咋創生」の総仕上げの年と位置

づけ、「第1期の総合戦略」の効果検証、さらに、国の新たな総合戦略の考えを踏まえ、「羽咋創生」の充実・強化に向け、「第2期総合戦略」を策定することなど、現状の羽咋市の抱える問題点の現状と今後の取組みについて説明がなされた。

9月10日の質問日では、6人の議員が質問に立ち、豪雨による災害対策、国道の整備推進、羽咋駅周辺整備、豚コレラ対策、行財政改革、LED防犯灯の新設、学校給食費などについて質問した。

最終日の採決では、令和元年度一般会計補正予算など市長提出議案12件、議員提出議案1件は原案のとおり可決した。平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定についての会計決算関係の認定7件については、引き続き決算特別委員会での継続審査とした。



浅野 俊二 議員

日本は一周遅れのランナーか



旧マルシェ跡地の解体を急げ

羽咋駅周辺整備はPPP／PFI方式は問題

【質問】 以前にPFI方式で羽咋中学校を建設すればとの提案があったが、市長は建設費用が標準化するとメリットもあるが、可能性調査や多くの書類作成で時間がかかり取り入れなかった。この方式はイギリスが本家でフランスが続き、いずれも取りやめた。問題は長期的に金が高くなる。行政のチェックが入らない。民間の場合、物言う株主が配当の増を要求する等で経営が長期に耐えれない等である。七尾市のパトリア破綻もある。今後の提案でもどこが行政か民間か全く見えない。まず行政が主体性を持って計画しないと民間にやられてしまう。この方式だと金を出さず金融機関が口を出し、入札も最初から競争原理が働かない。まずは急いで建物を解体し、PPP／PFI

Iに関するメリット、デメリット等の説明会を開き、十分論議すべきだ。ちゃんとした人材を配置し、疑惑を持たれないことが極めて重要だ。

【答弁】 今年度は、より具体的な整備内容となる基本計画を策定する。複合施設は官民連携を考慮し、PFI手法等民間活用の可能性の検討をした上で取組むよう国の指導がある。事業方式を決定したものではなく、今後は事業方法のリスクや費用負担割合等比較検討し、議会の意見も聞き事業化する。職員体制は都市づくり推進室を設置し、専任2人兼任10人を配置する。説明会は、10月2日に開催し、来月上旬にシンクタンクである日本経済研究所から講師を招き、説明会と勉強会を開催する。



櫻井 英一 議員

国道の整備促進を加速せよ



国道159号羽咋道路整備予定地

国道159号羽咋道路の整備進捗状況

【質問】 国道159号羽咋道路の整備促進については、これまで早期整備に向けて執行部をはじめ議会や関係機関等による積極的な要望活動が行われてきた。現在の用地取得等の整備進捗状況を聞く。

【答弁】 よりスピーディーに事業を推進するため、今年度中に羽咋市土地開発公社が深江町から石野町までの農地を対象に取得する。また、宅地等の用地取得はこれまでと同様に国が直接取得することになっており、予算を勘案しながら四柳町、飯山町、三ツ屋町及び石野町で取得を進めると聞いている。今後とも羽咋道路の整備促進に向け、国土交通省と緊密に連携する。

ほ場整備事業の推進

【質問】 近年、本市におけるほ場整備事業は、滝地区や酒井・本江地区で行われている。生産性の向上と農業の汎用化を図る上で、今後もほ場整備

事業の推進は不可欠であると考えているが、本市の方針を聞く。

【答弁】 ほ場整備事業は、ほ場の大区画化や農地の集積等により生産性の向上を図るとともに、水田をフル活用する高収益作物の生産を可能とすることで担い手の確保や地域農業の振興につながると考えている。現在、地元の要望を踏まえ、柴垣地区及び富永地区で来年度以降の事業採択に向けて県と協議しながら手続きを進めている。今後も農家や地域の要望を考慮しながら、地域農業の維持発展に必要な農業基盤の整備推進に取り組む。

その他の質問

- ①豪雨対策について
- ②東京オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて



浜名 等 議員

羽咋郡市広域圏事務組合 事業の進捗を聞く



解体が進む旧マルシェ跡地周辺

新ごみ処理施設と新斎場の建設はいつか

【質問】 志賀町にある「石川北部RDFセンター」は、令和4年で事業を廃止すると聞いている。今後のごみ処理の方針について聞く。また、新斎場建設では「候補地を1ヶ所に絞り込み、建設用地の可否を判断する最終段階にある」と新聞報道されている。進捗状況を聞く。

【答弁】 「石川北部RDFセンター」の事業廃止後のごみ処理の方針については、羽咋郡市広域圏事務組合において今年度策定する新ごみ処理施設建設基本構想に基づき、整備スケジュールなどを検討し具体的に取り組んでいくことになっている。また、新斎場建設の進捗状況については、広域圏事務組合議会の提案理由で説明しており、執行部の機関決定ができ次第、広域圏事務組合議会に説明し協議をすることになっている。

羽咋駅周辺整備事業で進める官民連携とは

【質問】 市長は提案理由説明の中で、羽咋駅周辺整備事業の効果や効率化を図るため、官民連携の活用を進めていくと説明をしている。官民の連携で得られる効果について聞く。

【答弁】 官民連携の効果については、施設の設計施工、維持管理、運営等について、民間の視点やノウハウ及び資金等を活用し、効果的に実施できることにあると思っている。また、公共サービスと民間サービスが融合することで、より効果的に高いサービスが提供できると考える。

その他の質問

豚コレラ対策について



岸 博一 議員

市民協働の推進を



協働を進める市民活動支援センター

行財政改革の方針は

【質問】 第7次行財政改革大綱を策定するのにあたり、市民協働によるまちづくりの推進が求められるとのことであるが、今までにどのような事業を進めてきたのか、今後どのように進めていくのか。

【答弁】 平成26年度に地域自治振興奨励金制度を設立した。また、公民館単位で地域で支えあうまちづくりを考える懇談会を開催するほか、自治防災組織の設置運営や羽咋会の設立なども進めてきた。今後は、人口減少と高齢化の進行、災害の多発等社会環境の変化を踏まえ、市民の安全で安心な生活を確保する分野に積極的に取り組んでいきたい。

将来の財政状況は

【質問】 羽咋郡市広域圏事務組合事業の組合債の償還終了により実質公債費比率が0.1ポイント

減ったとのことであるが、当広域圏事務組合では斎場建設、ごみ焼却炉建設、消防本部の建替え等大型事業が見込まれる。これらの事業が実施されると、将来本市の財政にどのように影響が出ると見込まれるのか。

【答弁】 羽咋郡市広域圏事務組合の3つの大型事業建設については、合計100億円を超えると見込んでいる。今年度は火葬場建設を具体的に進めるとともに、ごみ処理施設建設については、今年度、建設に向けたスケジュールを検討していく。これらの事業には、有利な補助金や起債制度を活用しながら本市財政の実質負担額を抑えられるよう努めていく。

その他の質問

羽咋市土地開発公社について



酒井 一人 議員

設備投資は未来を見据え 将来の羽咋のために



防犯灯設備のない羽咋高校グラウンド横道路

安全・安心 LED防犯灯新設に設備投資を

【質問】羽咋市内は、まだまだLED防犯灯の設備が充分とは言えない。そこで、安全・安心の3つの視点で、LED防犯灯新設について考えを聞く。

①市内高等学校通学路での新設について②避難施設や避難場所への避難経路での新設について③除雪道路の第1種除雪道路での新設について

【答弁】①現地の状況を精査し、道路管理者・電力会社・学校関係者と協議し、設置を検討する。②避難情報を発令した場合に備え、安全に避難するためにも、必要な箇所については整備を検討する。③道路除雪の第1種路線は、優先的に交通を確保する主要幹線道路で、歩行者の通行量や防犯灯の設置状況を考慮し、今後整備を検討する。

安全・安心 河川堆積土砂撤去の現状と今後

【質問】公立羽咋病院前の子浦川の堆積土砂の撤去で、今年の豪雨での逆流現象が見られず、効果があったと考える。そこで堆積土砂撤去の今年度の実績と予定について聞く。また来年度以降の堆積土砂撤去の事業計画について聞く。

【答弁】今年度実績は、子浦川で約270m、飯山川で約70m。子浦川、飯山川、吉崎川での除去予定がある。来年度以降の河川堆積土砂の撤去事業計画は、市内河川の堆積状況を踏まえ、石川県に幅広く要望していく。子浦川で約1km、飯山川で約2km、長者川で約1km、邑知潟上流部と邑知潟に流入する長曾川が特に除去が必要な箇所と認識している。引続き石川県に要望する。



北川 真知子 議員

給食費無償化に踏み出せ



瑞穂小学校

学校給食は義務教育の一環

【質問】学校給食は、義務教育の一環として重要な役割を果たしている。憲法26条では、義務教育は無償と明記していることから給食費を無料にすべきでないか。また、県内3自治体で実施されている2人目から無料を実施する考えは。

【答弁】憲法26条で定められている義務教育の無償の範囲は、一般的には授業料の無償を定めたものである。また、学校給食法は、食材費は保護者の負担と定めていることから、憲法は給食費までを無償化していない。

給食費の2人目以降の無料化は、県内の状況を見ながら今後の検討課題とする。

「移動の自由」を保障する地域公共交通政策

【質問】高齢者や障がい者、車を持たない人達の「移動の自由」を保障する地域公共交通政策が求められる。政府は、地方公共団体が接続可能な公共交

通ネットワークを形成するため、「地域公共交通網形成計画」を策定しているが、市としても、市民の「移動の自由」を保障する地域公共交通政策を立案してほしい。また、地域公共交通を担当する専門部署の配置ができないかを問う。

【答弁】現在策定中の羽咋市立地適正化計画では、公共交通ネットワークの充実についても検討しており、「地域公共交通網形成計画」の策定は検討課題とする。地域公共交通政策を総合的に検討する部署については、近隣自治体の状況を参考に検討する。

その他の質問

- ①会計年度任用職員について
- ②「プレミアム商品券」の運用について

予算常任委員会報告

◎新田 義昭 ○酒井 一人 岸 博一 浜名 等
北川真知子 寺井 哲也 櫻井 英一 稲村 信成
大塚 幸男 塩谷 久司 中村 孝清 山本 泰夫
浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第32号「令和元年度羽咋市一般会計補正予算第2号」など、議案4件。

9月11日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、付託された議案4件については、全会一致で原案のとおり可決した。審査の過程での、主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 保育料の無償化に伴う、今年度の国からの助成の内訳を説明してほしい。

【答弁】 10月から無償となるが、無償化に伴い、公設公営保育所で530万7千円、公設民営保育所で2,075万6千円、認定こども園で846万4千円が、国から地方特例交付金として助成される。

【質問】 子ども医療費の現物給付について。接骨院等の医療費が無料になるということだが、いつから無料になるのか。

【答弁】 今年の10月診療分から無料になる。

【質問】 立地適正化計画策定のための住民説明会を、いつ頃、何ヶ所での開催を予定しているのか。

【答弁】 中学校区の単位で、今年の終わりか、来年初め頃での開催を予定している。

その他として、羽咋駅周辺整備における、基本計画策定について、旧マルシェ店舗の解体設計について、周辺の河川及び道路の整備についての、質疑・答弁がされた。

総務民生常任委員会報告

◎中村 孝清 ○岸 博一 北川真知子 稲村 信成
塩谷 久司 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第36号「羽咋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について」など、議案5件。

9月12日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、付託された議案5件については、全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 来年4月から、会計年度任用職員制度の運用が始まる。会計年度任用職員の勤務時間や社会保険はどうなるのか。

【答弁】 勤務時間は、業務内容を考慮して、フルタイムとパートタイムの2種類を設定する。社会保険については、共済保険に加入する場合、1年以上の雇用期間があること、月18日以上でかつフルタイムの勤務であることが条件であり、これを満たすと2年目から共済保険へ移行する。

【質問】 フルタイムの会計年度任用職員を採用することになると、職員の定数条例を変更することになるのか。

【答弁】 定数条例の定義は一般職の常勤職員が対象であり、会計年度任用職員は一般職の非常勤職員なので定数に含まれない。



産業文教常任委員会報告

◎浜名 等 ○酒井 一人 寺井 哲也 櫻井 英一
大塚 幸男 新田 義昭 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第39号「羽咋市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について」など議案3件。

9月13日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、付託された議案3件については、全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 議案第39号、40号に係る成年被後見人の権利について、羽咋市として欠格条項に係る措置の適正化を図るという事項の本質をどのように理解しているのか。

【答弁】 この条例は、今年の6月に国で施行されたものであり、能力のある方を正しく評価していくという理解のもとに、本市でもこの条例改正の本質を守っていきたい。

また、付託案件以外の所管事項として、豚コレラ感染の拡大に係る県内の状況とその対応について、駅前周辺整備の提案について、東川原町周辺の浸水対策について、羽咋市の時間雨量の設定基準について、移住・定住に関連する空き家対策や移住体験住宅の活用状況などについての質問・答弁がされた。

決算特別委員会報告

◎浜名 等 ○櫻井 英一 酒井 一人 岸 博一
北川真知子 中村 孝清

9月17日、第1回目の決算特別委員会を開催し、委員長に浜名等議員、副委員長に櫻井英一議員を選出した。平成年30年度の一般会計、特別会計、水道事

業会計の決算の概要の説明を聴取した後、10月15日、31日に委員会を開催し、歳入歳出について審査することに決定した。

令和元年 第3回定例会 9月議会 議決一覧

◇ 令和元年度羽咋市一般会計補正予算など、市長提出議案12件、議員提出議案1件を全会一致で可決、認定7件を継続審査とした。

本定例会においては、議決に意見の分かれた議案等はなかった。

■全会一致で議決された議案等

	議 案 名	議決結果
議員提出議案第5号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	可 決
市長提出議案第32号	令和元年度羽咋市一般会計補正予算（第2号）	可 決
市長提出議案第33号	令和元年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第34号	令和元年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第35号	令和元年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第36号	羽咋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可 決

市長提出議案第37号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
市長提出議案第38号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
市長提出議案第39号	羽咋市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第40号	羽咋市公共下水道条例の一部改正について	可決
市長提出議案第41号	羽咋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第42号	羽咋市給水条例の一部改正について	可決
市長提出議案第43号	財産の取得について	可決
市長提出認定第1号	平成30年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出認定第2号	平成30年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出認定第3号	平成30年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出認定第4号	平成30年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出認定第5号	平成30年度千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出認定第6号	平成30年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	継続審査
市長提出認定第7号	平成30年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	継続審査

各委員会の組織替え

9月27日、各委員会の組織替えが行われ、次のとおり決定した。

議会運営委員会

委員長 山本泰夫 副委員長 櫻井英一
委員 浜名 等 大塚幸男 塩谷久司 浅野俊二

予算常任委員会

委員長 大塚幸男 副委員長 櫻井英一
委員 酒井一人 岸 博一 浜名 等 北川真知子 寺井哲也 稲村信成 新田義昭
塩谷久司 中村孝清 山本泰夫 浅野俊二

総務民生常任委員会

委員長 寺井哲也 副委員長 酒井一人
委員 櫻井英一 大塚幸男 塩谷久司 山本泰夫 浅野俊二

産業文教常任委員会

委員長 新田義昭 副委員長 岸 博一
委員 浜名 等 北川真知子 稲村信成 中村孝清

議会活動報告

- 7月16日 全員協議会
協議事項
・令和元年6月29日～30日豪雨による被害状況について
・EIZOエムエス株式会社の工場増設について
視察
・獣肉処理施設、会宝産業ビニールハウス
- 7月30日 議会改革特別委員会視察研修
視察先 加賀市
研修内容 議会議員政治倫理条例について
タブレットの導入について
- 8月9日 全員協議会
協議事項
・幼児教育・保育無償化及び副食費の取扱いについて
・夕日ヶ丘分譲地の促進販売について
・一般国道159号（羽咋道路）用地の先行取得について
・指定管理施設のモニタリング評価結果について
普通救急講習の受講

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対する感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。
〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議定会

例会は12月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ中段の「羽咋市議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

編集後記

先日、議会改革特別委員会に加賀市へ研修に行きました。内容は、議会議員政治倫理条例とタブレットの導入についてです。倫理条例について、県内で要綱等も含め制定していないのは、本市を含め3団体しかありません。最近、地方議員の問題となる行動が新聞等で報道されています。議員自ら襟を正す意味で、早急に本市議会も倫理条例の制定が必要と考えます。

タブレットの導入は、印刷紙の軽減に効果がありますが、議員全員がタブレットの操作をマスターする必要があります。

(岸 博一)

市議会だより編集委員会

委員長	岸 博一
副委員長	酒井 一人
委員	北川真知子 櫻井 英一 新田 義昭